

## 事後評価調書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 名古屋半田線（泡池工区）				
事業箇所	東海市加木屋町地内				
事業のあらまし	<p>(都)名古屋半田線は、名古屋市を起点として、東海市、知多市、阿久比町を通り、半田市に至る延長 22km の知多半島を縦貫する主要幹線道路であり、知多半島北部の道路ネットワークを形成する上でも非常に重要な路線である。</p> <p>このうち、当該事業区間の前後区間は整備済みであるが、当該事業区間が未整備であるためミッシングリンクとなっている。また、並行する現道は 2 車線で慢性的な交通渋滞が発生しているとともに、歩道は片側のみで幅員 2.0m と狭く、歩行者の安全も確保されていない。</p> <p>このため、「交通円滑化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、バイパス整備を実施したものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通円滑化 ② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目的】</p>				
事業費	事業費	内訳			
	12.2 億円	■工事費 2.3 億円、■用補費 8.9 億円、■その他 1.0 億円			
事業期間	採択年度	平成 10 年度	着工年度	平成 10 年度	完成年度 平成 23 年度
事業内容	<p>バイパス整備 延長 245m、幅 22.0m、車線数 (4/4) (2 車線運用)</p>				
II 評価					
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>バイパス道路である当該事業区間の完成により、現道を含めた断面交通容量が増大した。当該事業区間の整備により、歩道も設置され、歩行者と自動車が分離された。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>断面交通容量が増大したことにより交通の円滑化が図られた。 歩行者と自動車が分離されたことにより歩行者通行の安全性が確保された。</p>			
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>-</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>-</p>			
III 対応方針					
今後の事後評価の必要性	目標が達成されたため、今後の事後評価の必要性はない。				
改善措置の必要性	目標が達成されたため、改善措置の必要性はない。				
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施行されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。				